

令和5年9月13日

江別市立病院に通院・入院経験のある患者様へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

DASC-21における自覚的評価と他覚的評価はどちらが正しいのか

[研究機関]

江別市立病院（病院長 富山 光広）

[研究責任者]

看護部 臨床心理士 安瀬愛美

[研究の目的]

DASC-21は本人もしくは家族・介護者（以下、家族等）に行う認知症のスクリーニングスケールである。本人と家族等の評価が異なる場合、どちらの結果に信憑性があるのかを明らかにする。

[研究の方法]

- 対象となる患者様 2020年7月16日から2023年3月31日までに江別市立病院もの忘れ外来を初診した患者様・ご家族等
- 利用するカルテ情報 診断病名・アルツハイマー病評価スケール(ADAS)の得点, DASC-21の得点

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

江別市若草町6番地

江別市立病院 看護部 臨床心理士 安瀬愛美

電話 011-382-5151 FAX 011-384-1321